

川村光太郎

**最前線のオカッパリ競技ロッド
スティーズシヨアコンペティション
厳選タックル4本で白竜湖に死角なし**

それは初日の序盤、中流域の岬で2連発の快進撃を魅せた直後のことだった。「陸王の舞は、自身がヒートアップしてしまふせいか普段は起きない思わぬミスが出てしまふことも。どうやら足でガイドを踏んでしまったようです。」

この日のみならず、川村さんが常に主軸とするのがファイヤーウルフ。そのガイドのひとつが歪曲。折れることのないようブライヤーで丁寧に戻すもまさかの破損。万幸体すか否、川村さんは入念な準備に怠りなかった。「先日中国に遠征したときにも

使っていたファイヤーウルフの2ピースを車にちよと載せていたんです。」

このときからサブに控えていた2ピースがメインに昇格。以降試合終了まですべての魚をこの1本で仕留めたのだ。

中弾性ソリッドタイプを備え、撃ちやウイヤーベイトのみならず、クランクベイトの巻きさえも1本でこなせる究極のハイサイル。今季発表された2ピースモデルにも漏れなくその唯一無二の特性は踏襲された上で、優れた携帯性を持ち合わせる。要注目のモデルだ。



当初は1ピースと2ピースのファイヤーウルフ2本立てで、一方はギャップジグ、もう一方はビーブルをセット。しかし不意のガイド破損により、2ピース1本ですべてに対応。全10本の釣果のうち、7本を2ピースで捕獲。



使用タックル

①[3/8オンスジグ用]●ロッド: STEEZシヨアコンペティションSC C69M+ -2- STファイヤーウルフ (DAIWA) ●リール: ジリオンSV TW1000HL (DAIWA) + RCSB SV1000S、RCSBカーボンライトクランクハンドル、RCS 15エイブコルクノブ クリア (全てSLPWORKS) に換装済み。 ●ライン: STEEZフロロタイプモンスター 14ポンド (DAIWA) ●[ミドル級バーサタイル②]左記参照。 ●[ミドル級バーサタイル①]左記参照。 ●[ヴァラップミノール用]●ロッド: STEEZシヨアコンペティションSC S64L SV-STファイヤーフラッシュ (DAIWA) ●リール: イグジストLT2500S-XH (DAIWA) ●ライン: UVF PEデュラセンサー S 5.5グラム (DAIWA) + シーガークランドマックス1.5~1.75号 (クレハ)

メインタックル②

ROD
STEEZ シヨアコンペティション SC C69M+ -ST ファイヤーウルフ (DAIWA)

序盤までメインだったピースモデル。「僕の釣りに欠かせないオカッパリの主軸」。リールから5年目となる今季も絶対的守護神だ。

REEL
STEEZ SV TW100HL (DAIWA)

●RCSBカーボンライトクランクハンドル、RCS 15エイブコルクノブ クリア (全てSLPWORKS) に換装済み。

LINE

STEEZ フロロタイプ モンスター13ポンド (DAIWA)

川村さんが愛用するラインは現在廃番となったモデル。実は昨年未だからこのモデルを超えるべく新作ラインを鋭意開発中なのだという。

メインタックル①

ROD
STEEZ シヨアコンペティション SC C69M+ -2- ST ファイヤーウルフ (DAIWA)

初日序盤の3本目を仕留めた直後に、1ピースモデルのガイド破損を確認。以降、試合終了までの7本をこの1本のみで捕獲した。

REEL
STEEZ リミテッドSV TW100L (DAIWA)

●RCSB SV1000S、RCSBカーボンライトクランクハンドル、RCS 15エイブコルクノブ クリア (全てSLPWORKS) に換装済み。

LINE

STEEZ フロロタイプ モンスター13ポンド (DAIWA)

12ポンドでは心許ない。14ポンドでは操作性に難が出る。DAIWAラインはほかにない絶妙な値の13ポンドをラインナップ。

佐藤リョーキ

**ライトリグをメインに
ベイトの釣りはリコリスでカバー**

もつとも多用したスモラバはハートランド671LFSのタックルを使用。「これは僕がライトリグをやる上で欠かせないロッド。どこへ行くにも必ず持っています。ネコリグ、スモラバ、ダウンショット、スプリット、ジグヘッドなど、あらゆるライトリグが使えます。近距離戦ならフロロ、遠投したい場合はPEで2タックル用意しました。トリップセブンESSは、普段沈み蟲を遠投したり、パワーフィネス的なことをするロッド。今回はザリメタルで使用しました。小さいプラグもこのロッドで

やりますね。スピニングはできるだけ操作性を上げたので、長くてもフイットまで、ロングロッドはあまり使わないです。」

あとはAKチャーター用にリコリスを2セット用意した。「リコリスの78M、78Hは汎用性があるので、ほかの釣りがしたくなってもある程度対応してくれまして。ベイトフィネスやリコリスの70/80、ハートランド721 HRBなども普段よく使ってますが、それらは今回はいらなかつた。ちなみに、タックルのほとんどは遠賀川の大会の賞金商品券で買ってます(笑)。」



使用タックル

①[AKチャーター 13~21グラム用]●ロッド: リコリス78H (一誠) ●リール: スティーズA HLC 7.1L (DAIWA) ●ライン: FCスナイパー 18ポンド (サンライン) ●[AKチャーター Jr.用]●ロッド: リコリス78M (一誠) ●リール: スティーズSV TW100HL (DAIWA) ●ライン: FCスナイパー 12ポンド (サンライン) ●[ザリメタル用]●ロッド: ハートランド702MLRS-AGS14 トリップセブンESS (DAIWA) ●リール: ルビアスLT2500S (DAIWA) ●ライン: オールマイト0.8号 (サンライン) ●[ヴァラップミノール用]●ロッド: ハートランド702MLRS-AGS14 トリップセブンESS (DAIWA) ●リール: ルビアスLT2500S (DAIWA) ●ライン: オールマイト0.8号 (サンライン) ●[ライトリグ用]●ロッド: ハートランド671LFS-18 (DAIWA) ●リール: イグジストLT2500S-CXH (DAIWA) ●ライン: アブソルトAAA 4ポンド (バリバス) ●[ライトリグ用]●ロッド: ハートランド671LFS-18 (DAIWA) ●リール: ルビアスLT2500 (DAIWA) ●ライン: オールマイト0.6号 (サンライン) ●[ヴァラップミノール用]●ロッド: シーガークランドマックスFX 6ポンド (クレハ)

メインタックル①

ROD
ハートランド 671LFS-18 (DAIWA)

どこへ行くにも必ず持っていく佐藤リョーキのライトリグのバーサタイルロッド。ハートランドの中では短めで、感度が良く操作性も高い1本。

REEL
イグジスト LT2500S-CXH (DAIWA)

メインに使うスピニングにはイグジストをセット。「軽さも強さも、ドラッグ性能も最高。僕のお小遣いの3~4ヶ月分ですが、この陸王のために購入しました(笑)。」

LINE

アブソルト AAA 4ポンド (バリバス)

ライトリグをフロロでやる場合は基本4ポンド。アブソルトAAAは耐摩耗性が強く、多少の枝がらみでもスムーズにフイトできる。それでいてしなやかなの気に入っている。

メインタックル②

ROD
ハートランド 702MLRS-AGS14 トリップセブンESS (DAIWA)

沈み蟲の遠投やトップウォーターやミノールなどを扱う、リョーキのパワースピニング。ザリメタルのリフト&フォールも使いやすい。

REEL
ルビアス LT2500S (DAIWA)

性能と価格のバランスが取れた。佐藤リョーキのスピニングのオールマイティ機。「ルビアスは5~6台持っている、本当に気に入っていますね!」

LINE

オールマイト0.8号 (サンライン) シーガークランドマックスFX 10ポンド (クレハ)

沈み蟲やスプリットショットなど、ボトムでの釣りを快適にするために高比重PEを使用。「リーダーはグラントマックス。魚をかけて切れたこともないし、根掛かってもリーダーが残っていることが多いです。」

ヒットルアー
佐藤リョーキ
C4ジグ1.3グラム
(エバグリーンインターナショナル)
+ハンハントレーラー
(常吉)

陸王 2025

ふわっとフォールさせたいのでスモラバ1.3グラム

「C4ジグは、遠賀川では多くのアングラーが好んで使っているスモラバ。その影響もあって愛用しています。特に冬場のスローな釣りでよく釣れますね。ハンハントレーラーは、理由はわからないですが何故かよく釣れます(笑)。甲殻類を演出するのに本当に理想的な形で、パーツが多すぎなくて無駄なものがないです。」

ヒットルアー
佐藤リョーキ
G.C.ザリメタル
12グラム
(一誠)

陸王 2025

1年中出番があるスライドフォール系鉄板

「遠賀川では冬のマンメイド護岸、大江川ではハイシーズンの浮き漁獲回りで使っています。冬は軽め、ハイシーズンや流れの強い場所では24グラムも使ったりします。スライドフォールして、バスの目の前にスッと入っていくイメージで使えるのがいいところ。見た目が魚っぽくないのも気に入っています。」

使用ルアー
佐藤リョーキ
AKチャーター
(一誠)

陸王 2025

13グラム 21グラム

これで釣ると波に乗れる巻きの切込隊長

Jr.は広範囲を細かくサーチ、10、13グラムはシャローをオールマイティに探ることができる。「21グラムは、重さからくる水押しのアピール力で、デカバスを一撃で食わせることができます。ですので、プラでは投げずに本番まで温存しておきました」。トレーラーは、Jr.はライオンミニ 4インチ(一誠)、10グラム以上はカタクチワームヤバクネ(一誠)をセット。

使用ルアー
佐藤リョーキ
バルキースパテラ2.8インチ
(一誠)
スプリットショットリグ

陸王 2025

ボトムを丁寧にサーチできる食わせのスプリット

今回の陸王では、主に本湖のキーパーサイズを釣るために用意。「使い方はボトムズル引き。シンカーとワームの間のラインの存在感を消せるのがスプリットショットの利点です。ワームはいろいろ試しましたが、今回は太短いバルキースパテラが一番反応が良かったです」。●フック: ライトニングストライク#4(ハヤブサ) ●シンカー: 楽ワリスプリットショットシンカー 1.2、1.8グラム(一誠)

ヒットルアー
川村光太郎
ギャップジグ5グラム
+ギミー3.5インチ
(共にボトムアップ)

陸王 2025

表層・中層・ボトムの全層攻略ジグとトレーラーの相性が◎

表層ではカエルをイミテート、中層でジグスト、そしてボトムでドリフトと自在な展開が可能。ギャップジグのショートシャングがギミーの動きを制限することなく、常に生命感のあるアクションを実現するベストセティングだ。ギミーのカラーはダーククワセ、ブルーギル、ライトバンキンマジックを中心に使用。

使用ルアー
川村光太郎
ギミー3.5インチ
(ボトムアップ)
+フリーリグ

陸王 2025

岬のアップヒル攻略! 見せ方の差でジグとの2刀流

試合では流れを求め、足下から急深な岬で登板。ジグはボトム中心に誘う一方で、フリーリグはやや強めに跳ね上げることでギミーを浮かせフォールで食わせの間に演出できる。●フリーリグ: シンカー-S 5.5グラム (DAIWA) ●ライトニングストライク#2/0(ハヤブサ)

使用ルアー
川村光太郎
ヴァラップミノール5インチ
(ボトムアップ)
+ジグヘッドリグ

陸王 2025

魅惑のくねりアクション! 次なる中層の新兵器!

ポディー周をぐるりと回むようなスリットを全身に刻むことで、ジグヘッドリグによるミッドストでは身をはねるような艶かしいアクションを演出。ネコリグでもより柔らかく複雑な動きを生みだせることができる。●Dストライカーヘッド タイプS1.8グラム(ハヤブサ)

使用ルアー
川村光太郎
ビーブル3/8オンス
(ボトムアップ)

陸王 2025

伝家の宝刀・スピナベサイトの主軸機

今回の陸王ではアシのストレッチなどで見えた魚に対してスピナベサイトに主に使用。使用したのは、川村さんがリアのワイローリーフプレートにアブシートを装着した自作モデル。艶かしい輝きがビーブルのポテンシャルを底上げする。